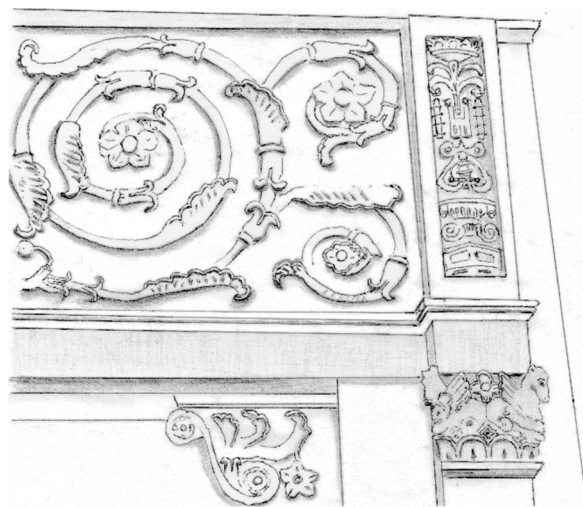


第六回 建築ツアー

@ 横浜 関内

コットン



① 日本興亞馬車道ビル(旧川崎銀行横浜支店)

所在地：中区弁天通 5-70 建築年：1918 年（大正 7）

設計：矢部又吉

窓の上部にペディメントを飾り、1 階部分を

ルスティカ積み（イタリア特有の荒い石の積み方）

にするなどして安定感があるが、一部保存でデスマスクを張り付けたような方法で残念。



② 神奈川県立歴史博物館（旧横浜正金銀行横浜支店）

所在地：中央区南仲通 5-60 建築年：1904 年（明治 37）

設計：妻木頼黄

大正時代には世界三大為替銀行の一つと言われた。

八角形のドームとネオ・バロック&ドイツ・ルネサンス

様式が特徴の建物で、どっしりとした中にリズム感があり

絶妙なバランス感覚が素晴らしい。ステンドグラスを張った八角形の天井明かりも素敵です。

ドームの塔頂を飾る尖塔はアラブの水塔を思わせるデザインらしい。

一足早くコーネル大学で学び後には一高の教授になった小島憲之の

影響で妻木もコーネル大学でも学んだそうです。

辰野金吾とは論争相手として有名なが、家族ぐるみの付き合い

もされていたらしい。



③ 馬車道大津ビル（旧海上火災保険ビル）

所在地：中区南仲通 4-43

建築年：1936 年（昭和 11）

設計：木下益治郎

神港ビルヂングのアールドコ調鉄塔

アールドコ調のシンプルでスカッとする佇まいのビル設計者は長らく

不詳のままだったが木下益治郎と判明。同じ設計者の神戸旧居留地

にあった「神港ビルヂング」のアールドコ調鉄塔を思い出す。



④ 東京芸術大学大学院 映像研究科

(旧安田銀行横浜支店)

所在地：中区本町 4-45 建築年：1929 年（昭和 4）設計：安田銀行営繕課

ドリス式オーダーとルスティカ積みが特徴で本町通りと馬車道に面した

玄関は、いずれも扉上部にペディメント（破風。正面上部に設けられる山形部分）をあしらっている。



⑤ 横浜創造都市センター(旧横浜銀行)

所在地：中区北仲通 5-46 建築年：1929 年（昭和 4）設計：西村好時

半円形の壁面に 3 つの扉を 1 階部分に設け、その上に 4 本柱を載せて

バルコニーを形成している。



⑥ D' グラフォート横浜 Cruising Towe

(旧第百銀行横浜支店)

所在地：中区本町 2-20 建築年：1931 年（昭和 6）

設計：矢部又吉

重厚なイオニア式オーダー建築。矢部又吉は妻木のすすめでドイツに渡りエンデ&ベックマン事務

所で働きながらベルリン工大に学んだ人だそうです。



⑦ 横浜銀行協会（旧横浜銀行集会所）

所在地：中区本町 3-28

建築年：1936 年（昭和 11）

設計：大熊喜邦、林豪蔵

簡素なクリーム色の外壁に三階最上部

左右の隅や軒の装飾（コーニス）に

あしらわれた褐色のテラコッタが温か

みを演出して素敵だ。玄関の銅製扉に刻まれた帆船レリーフが

横浜っぽい。玄関ポーチも変則八角形の柱を中心に側面のテラ

コッタ装飾、直線と花をあしらった門燈と凝っている。



⑧ 三井住友銀行横浜支店

所在地：中区本町 2-20 建築年：1931 年（昭和 6）

設計：トロウブリッジ&リヴィングストン建築事務所

イオニア式オーダーが特徴。全体としてスタイリッシュでスッキリとした印象になっている。



⑨ 綜通横浜ビル（旧江商横浜支店）

所在地：中区本町 1-3 建築年：1930 年（昭和 5） 設計：不詳

フランク・ロイド・ライト風意匠で変化あり、ファサードのみ保存。

貸事務所となっている。



⑩ 横浜市開港記念会館

所在地： 中区本町 1-6

建築年：1917 年（大正 6） 設計：福田重義

横浜市営繕組織

愛称：ジャック。

赤レンガと白い花崗岩による辰野様式建築

の傑作。大阪の中央公会堂に似ている感じで

親近感を感じます。

時計塔の時計は東西南北にあり市民に優しい。

ステンドグラスは飾りガラスの前の 2 階のホール

と中央階段の壁面の 2 か所に見応えあり。

毎月 15 日は一般公開日になっている。

ジャックサポーターによる無料ガイドツアー

があります。



⑪ 神奈川県庁本庁舎

所在地：中区日本大通 1

建築年：1928 年（昭和 3）

設計：小野嘉郎

愛称：キング。

コンペ当選案を耐震構造建築の基礎を築いた佐野

利器工学博士のもとで県内務部が実施。

「帝冠様式」がコンペ要項に組み込まれた最初の建築物。



⑫ 横浜税関

所在地：中区海岸通 1-1

建築年：1934 年（昭和 9）

設計：大蔵省営繕管財局

愛称：クイーン。

イスラム寺院を思わせる

緑青色のドームが特徴。

またファサードの三連アーチは、この建物の重要なモチーフ。

アーチを支える円柱はインド古代建築風、アーチ周りの装飾は

ムーリッシュ風、ねじれ柱はクラシック系と色々な様式が混在

しているが上手くまとまっている。



1950 年代位までは、外国の船乗りたちが目印にしたというキング、クイーン、ジャックの横浜三塔が良く見渡せたようです。

建

所在地：中区海岸通 1-1 建築年：1929 年（昭和 4）

設計：大倉土木

海岸通りと開港広場前交差点に建つL字型の建物で外壁にスクラッチタイルを張っている。



建

所在地：中区海岸通 1-1

建築年：1930 年（昭和 5）

設計：川崎鉄三

垂直と水平を意識したビル。設計者の川崎鉄三は、大正末期から昭和初期にかけて関内を中心に多くのオフィスビルを手がけた建築家。



STRIPES(パソネクスプレス コンピュータセンター)

所在地：中区海岸通 1-1

建築年：1936 年（昭和 11）

設計：不詳

塔屋の丸い浮き輪のようなマークと壁面の波型模様がモダンで小さいけれど楽しい建物。今はオリジナルシャツの店。



⑩横浜開港資料館 旧館（旧イギリス領事館）

所在地：中区日本大通 3

建築年：1931 年（昭和 6）

設計：英国工務省



旧居留地 90 番地の大砲

外観はジョージアン様式。北側正面玄関部分は、ヴォールト天井をコリント式独立柱が支えている。



展示の大砲は、スイスの商社が使わなくなった大砲(11ポンドカノン砲)を錨に作り替え出入りする船に売買するため持っていたものが関東大震災時、地中に埋まってしまったらしい。

⑰横浜情報文化センター

(旧横浜商工奨励館)

所在地：中区日本通 11

建築年：1929 年（昭和 4）

2000 年（平成 12）

設計：横浜市建築課

関東大震災でこの地にあったアメリカ領事館が焼失し、跡地に建設。

旧貴賓室は見学のみ（Wikipedia 画像）⇒

屋内のハンチ部分や天井、階段などの

装飾が良い。



旧貴賓室



二階のカフェドゥラプレス
(画像提供:mura さん)

⑱旧 ZAIM (旧関東財務局,旧日綿実業横浜支店)

所在地：中区日本大通 34

建築年：1927 年（昭和 2）

設計：渡辺節



スクラッチタイルのオフィスビルで正面入り口上部の植物模様の浮彫りは必見。

渡辺節は、とびっきりオシャレで人付き合いも良かった人らしい。

大阪にオフィスを構えていたので大阪の中規模ビルを多く手がける。

代表作として大阪の「綿業会館」神戸の「商船三井ビルディング」

などがある。横浜に 1 つだけかろうじて残っている渡辺節が設計

した建物。



(商船三井ビルディング)

* 横浜は JAZZ が似合う

若者による路上 JAZZ ライブ：横浜の街に馴染んでいました(^_^♪





第六回 建築ツアー - @ 横浜関内



横浜創造都市センター

東京芸術大学大学院
映像研究科

神奈川県立
歴史博物館

馬車道大津ビル

D'グラフィコ
ート横浜

横浜銀行
協会

日本興亜
馬車道ビル

参考文献：

近代建築散歩 東京横浜編

横浜建築家事典稿

ランドマークが語る神奈川の100年

日本の近代建築（上）（下）

都市の記憶 横浜の近代建築（1）

明治の建築家・妻木頼黄の生涯

宮本和義・アトリエ M5

堀勇良

読売新聞社横浜支局

藤森照信

横浜市歴史的資産調査会

北原 遼三郎

～ Copyright (C) 2014 コットン ～



